

スペイン. 文学の旅

訳例と解答例

14. はたご屋『猫』(6), p.33

私がセビリアをあとにしてから長い歳月が過ぎたが、あの日の午後のことはまったく忘れたわけではなかった。その思い出はひたいのほてりを鎮めてくれる快いそよ風のように、時折私の想像の世界をよぎるのであった。

私は、アンダルシアの緑が自然のすばらしさをひかえめながら繰り広げていた、あの穏やかで安らぎがあって光かがやく景色を思い出していた。小舟に乗って上流へとさかのぼるような気分で、対岸の木立と細長い塔のあるカルトゥハ修道院を再び目にする事ができた。それに向かい合ってウメロス地区と、なかばアラビア式なかばローマ時代の古い城壁と、いばらにおおわれた土塀のある果樹園もあった。そして最後にサンヘロニモ修道院が目に入った。

*L1. abandoné a Sevilla ですが、a というと「Sevilla に向かって」という感じですか？
→いいえ、逆に「セビリアから離れる」という意味です。abandonar は「棄てる、放棄する」という意味ですが、その後には地名が来ると、「その土地を棄てる」→「離れる」という意味になります。a が無いこともあります。

*L1. の Transcurrieron ... a Sevilla の部分は解答例によると後の文と逆接でつながっているが、これは文法的にどう説明できるか？
→直訳すれば、sin que...の部分が「…することなく」という意味で、Transcurrieron の文(主文)に繋がりますが、sin の前のコンマで明確に2つに分かれ、継続的に訳すと、「…であり、それでも(しかし)…であった」という構造になります。

*L2. olvidase は命令形ですか？意味は？
→いいえ、接続法過去(se 形)です。sin que の節は「否定」の意味が及ぶので節が接続法になります。

*L.6. sin aliño は「飾り立てのように」ではないか？
→sin は「…がなく」(英: without)です。「飾り立てをせずに」ということで「ひかえめに」となります。

*L7. como si を「ような気分で」で訳すのは意識ですか？

→como si + 接続法過去は「実際に過去に行われたいかなかったことをあたかもしたかのように」という意味になります。ここではそれを「…のような気分で」と訳しました。

*L. 7. なぜ desfilan「列をなす」という動詞を使っているのでしょうか？「川を遡っている」というイメージが強いからでしょうか？

→そうだと思います。そして、「川を遡る」につれて、次々に視界に入る景色を表現しています。desfilan はパレードの列をなした行進のイメージです。

*L7. vi desfilan otra vez はその後の文章すべてにかかっているのではないのか？カルトゥハ修道院、ウメロス地区、古い城壁、果樹園、サンヘロニモ修道院、のすべてを合わせて「列をなしているのを再び見た」と考えるべきではないのか？

→賛成です。次々に列をなして視界に入る様子を、「…を再び目にするのができた。…もあった。そして最後に…が目に入った」と訳しましたが、正確には、すべてを目的語にして「…が列をなしているのを再び見た」という意味になります。ただし、同時にすべてを見たのではなく、作者が歩き進むうちに継起的に視界に入ってきたものと思われまので、訳文もそのような工夫が必要だと思いました。

*L8. sus arboladas は「対岸の木立」と訳してあるが、「対岸の」という意味は本文のどこから読み取れるか？

→「対岸の」は「木立」だけでなく、「細長い塔のあるカルトゥハ修道院」も含みます。Cartuja 修道院は Guadalquivir 川の対岸で、舞台の Macarena の門とは反対側になります。それを本文では L8 の por un lado と L9 の por el otro が表現しています。

*L9. por el otro は「それに向かい合って」という意味に解釈できるか？

→その前に、por un lado があって、それと呼応していますから、そのように解釈できます。

●EJERCICIO, p.34

(1) 私は彼が数日したら引っ越しをすと聞きました。

(2) そのとき、私は大地が揺れるのを感じた。

* (1) **decir** の直接目的語が見あたらないのですが？

→直接目的語は **que** 以下の内容です。「…ということ」を聞きました、という意味になります。